

# 第1回検討会の 主要意見と対応

# 第1回検討会でのご意見と対応（1）

トピック	発言者	意見	対応方針
大阪湾における 尼崎西宮 芦屋港の役割	山縣委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行構想における尼崎西宮芦屋港沖合の「留保ゾーン」の活用は、より広域的視点で考える必要があるのではないか。</li> <li>少なくとも阪神港の港湾空間をどう考えていくかというビジョン（複数シナリオが望ましい）をイメージした上で、この中間に位置する尼崎西宮芦屋港をどうしていくのかを考え、長期構想・本計画を検討してもよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大阪湾港湾の中での立ち位置における基本スタンスとしては「大阪湾港湾の基本構想」の枠組みで考えた上で、神戸港、大阪港との連携を検討。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期構想は概ね20～30年後、港湾計画はその内10～15年をまとめる方針。ただ、より長期的ビジョンで検討すべきとのご意見も理解できる。ご意見を念頭に置いて議論したい。</li> </ul>	
	石黒委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域的な視点が必要。例えば、用地不足は神戸港でも聞かれ、総花的な対応は難しい。</li> <li>行政が機能特化を叫んでもフォローし切れないところが出てきてしまい、また県単独でアプローチしても納得が得られないと思われるため、やはり神戸、大阪等との意思疎通を図り、自分の港はどこに強みを持たせるかを議論していく必要がある。</li> </ul>	
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>まずは「大阪湾港湾の基本構想」の枠組みで考える。ただ、尼崎西宮芦屋港では産業用地としての問い合わせもあり、用地不足の問題は実感している。</li> <li>大阪港・神戸港の港湾計画担当者とは将来需要も見据えて密に連携する。</li> </ul>	
	竹林会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>尼崎西宮芦屋港として、阪神港の2番手でよしとするか、キャストイングボートを握る存在を目指すか。前者は長期的に厳しい状況に直面すると思われる。阪神港の中間で機能するだけでなく、「大阪湾として尼崎西宮芦屋港があった方がよい」と言える機能や特徴が何かを議論していければよい。</li> </ul>	

# 第1回検討会でのご意見と対応（2）

トピック	発言者	意見	対応方針
市民に開かれた港湾	北田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>西宮市域はヨットハーバーやマリーナ等の海側から使う施設だけでなく、スポーツ施設や緑地等の都市市民が楽しむ施設も多数立地している。今回の改訂で、港湾区域にも都市市民が楽しみを享受できる場があるとうたってはどうか。</li> <li>今回の資料中に港湾ユーザーからの意見が取り上げられているが、どの範囲でヒアリングをされたのか？</li> <li>一般市民目線では、港湾計画はやや縁遠いものを感じられる。港湾ユーザーからの意見だけでなく、広く一般市民の意見も取り入れた計画になればよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『戦略』『マリーナ等の集客施設の強化』において、『施策』『海洋性レクリエーションの発展に向けた活動空間・マリーナ等の環境充実』を反映する。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年度より港周辺の事業者計186社にアンケートを実施し回答を分析している。さらに港湾ユーザーを中心に個別ヒアリングを実施している。内陸側の物流事業者、荷主などに対しても、尼崎西宮芦屋港の認知度や利用意向、課題等を聴取したい。</li> </ul>	
	竹林会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾エリアは特殊な技術が息づく空間であり、港湾関係者だけの閉じた議論になりがちである。ただ、尼崎港は歴史的に長らく大阪湾の中心であり、本来は地元とも近かった。港を地域の方へ再び戻していく視点も必要ではないか。</li> </ul>	
港湾と後背地の連携	森山委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>尼崎西宮芦屋港で取り扱われる完成自動車は内陸部で発生している需要であり、大型物流倉庫や冷蔵倉庫についても雇用面を考えて内陸部に立地する傾向が尼崎市内でも見られつつある。港湾と都市の連携はますます重要。</li> <li>尼崎では産業と環境の両立を目指しており、脱炭素が取り組まれる中、モーダルシフト等の観点で港湾の役割が見直されるチャンスでは。本計画でも港湾エリアだけを捉えるのか、後背地をもう少し広く捉えるのかを整理された方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内陸部との連携強化は、ハード的には道路ネットワークの整備によって達成されと考えられるため、『戦略』『道路ネットワークの充実』に、『施策』『港湾利用貨物の陸上アクセス利便性の向上による内陸部との連携強化』を追記。</li> <li>ゾーニング案検討の際、背後3市の産業（尼崎：鉄鋼、西宮：物流、芦屋：食品）を踏まえた案を提示する。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>港湾の機能強化は周辺産業も含めて考える必要がある。内陸部との役割分担や連携強化に加え、各市の上位計画等との整合性を図りつつ、港湾・後背地の両方向からどうあるべきかを議論していきたい。</li> <li>昨今、九州-関西間のRORO船等の便数が増加しており、モーダルシフト需要として尼崎西宮芦屋港において活用できないかと考えている。</li> </ul>	
	竹林会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>尼崎・西宮・芦屋の各港区の後背地にはそれぞれ特徴のある産業が立地している。港湾機能とどう結びつけるかは非常に重要なテーマ。</li> </ul>	

# 第1回検討会でのご意見と対応（3）

トピック	発言者	意見	対応方針
災害ガレキ	山縣委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>南海トラフ巨大地震でも莫大な災害廃棄物やガレキの発生が想定される。内陸部に用地がない以上、港湾エリアで受け持つべき役割は大きい。</li> <li>災害ガレキ処分の議論や対策検討は、当会議や尼崎西宮芦屋港単独でできることではない。兵庫県・神戸市・大阪府市といった関係府県、国の指導も得ながら、関係者への問題提起と共に、ある程度の見通しを立てた上で尼崎西宮芦屋港としての役割を先取りして考える必要がある。</li> <li>ガレキの最終的な処分地は当然必要だが、発生したガレキをそのまま海に捨てるわけにはいかない。ガレキを仕分けるための場所も必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『戦略』「大規模災害で発生する災害ガレキ等の広域的な対応を見据えた埋立空間の検討」として追記。</li> <li>具体的な検討（震災時にガレキを受け入れる体制、尼崎西宮芦屋港の割当量、具体的な想定ガレキ発生量等）については国や他府県・他市等との調整も必要のため、検討に向けての調整を別途進めていく。</li> </ul>
	竹林会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>大きいテーマではあるが、将来を見据えた心づもりや一定の規模感は掴んでおく必要がある。避け難い話という認識を持っている。</li> </ul>	
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>早期に方針決定することは難しいが、地方整備局や近隣の港湾管理者との調整も含めて尼崎西宮芦屋港でどのような役割が受け持て、何ができるのかを引き続き議論したい。</li> </ul>	
施設老朽化	田中委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に土木構造物の老朽化が問題となっている。尼崎西宮芦屋港は阪神淡路大震災による損傷とその後の一斉補修があったため、老朽化も同時期に進行するよう思われるが、県として何か検討されているか？</li> <li>せっかく計画的に補修を進めているのであれば、改訂計画も含む関連計画が連動して行われるように考えればよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『戦略』「南海トラフ巨大地震や高潮に備えるハード・ソフト対策の推進」に、『施策』として「施設老朽化等に対応する戦略的かつ効率的なインフラ・メンテナンスの推進」を追記。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>兵庫県では2014年度に「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」を策定し、致命的な損傷が見られる施設から優先的に補修に取り組んでいる。ライフサイクルコストを考慮し計画的に維持補修を進めている</li> </ul>	
	竹林会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフラの状態は風雨や気候などその時々状況によっても悪化度合い等が変わってくるため、状態の継続的な観測とその合理化についても検討課題とする必要がある。</li> </ul>	

# 第1回検討会でのご意見と対応（4）

トピック	発言者	意見	対応方針
尼崎港将来像 検討会	松本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●港湾計画の改訂にあたり、港のあり方、まちづくり、産業政策の視点も踏まえて、港運協会・尼崎商工会議所・尼崎市と共に「尼崎港将来像検討会」を立ち上げ、1年9回ほど議論を行ってきた。コールドチェーンやバンプール活用といったアイデアも出されている。</li> <li>●取りまとまってきたため、この検討会の場でもぜひ提出させて頂きたい。 (参考資料1:「尼崎西宮芦屋港の港湾計画改訂にあたっての考え方」について)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●『戦略』「物流動向を見据えた様々な貨物への対応」において、『施策』「大阪湾内におけるはしけ輸送拠点化」等を追記。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地元市と一緒に考えて頂いていることは非常にありがたい。この場でも議論し、少しでもうまく計画に盛り込んでいきたい。</li> </ul>	
交通ネットワーク	松本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物流ネットワークを考える際、現状として渋滞に非常に苦慮しているため、東西及び南北道路の整備拡充を県市の連携により対応頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●港湾背後の道路ネットワーク改善に関しては引き続き関係県・市と連携しながら取り組むこととし、本構想では港湾区域における対応方針に焦点化する。</li> <li>●『戦略』「道路ネットワークの充実」の項目に、『施策』「東海岸町沖地区における東西連絡等の交通課題への対応」を追記。</li> </ul>
	竹林会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>●阪神間は東西路・南北路ともに道路容量が全く足りていない。特に国道43号線などは時間帯によって非常に混雑しているため、県としても対応を考えて頂きたい。</li> </ul>	
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>●混雑問題は認識しているが、港湾から北側内陸部の負荷を与えず、東西の交通も考えたい。また、南北路は港湾区域外の道路管理者とも調整しながら検討したい。</li> </ul>	
岸壁整備	松本委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>●大阪での万博/IRの話も動き始めた中、尼崎西宮芦屋港東海岸町沖などの未整備岸壁も、早期供用実現となれば時節に乗った整備となる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●早期完成に向け、現在整備中。</li> </ul>
	事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>●出来る限り早く供用できるよう引き続き取り組む。</li> </ul>	
総括	竹林会長	<ol style="list-style-type: none"> <li>①阪神港とも相談しつつ、尼崎西宮芦屋港の立ち位置や機能分担を今まで以上に明確化し、強い立場を確保できる方向性を定める。</li> <li>②インフラのメンテナンス計画等はこうした長期構想に織り込み、きちんと位置づける。</li> <li>③地元からの様々な意見やご提案を踏まえ、議論の俎上に乗せる準備をした上で計画を進める。</li> <li>④広域連携が必要な道路ネットワークの改善など、卑近な議論に留まらず、大きな絵を描いて議論を進めていく。</li> </ol>	

# 尼崎港将来像検討会での検討事項（参考資料1の抜粋）

	着目ポイント	考え方	施策
将来像	地元経済に貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流機能の強化</li> <li>・背後産業に対応した整備</li> <li>・モーダルシフト、内航RORO船に対応した整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェニックス東側岸壁の整備</li> <li>・物流円滑化に対応した道路整備</li> </ul>
	安全なくらし、安定した企業活動への貢献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ地震等災害への対策</li> <li>・港湾施設の老朽化対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海岸町3、4号岸壁の補修</li> <li>・南海トラフ地震対策の実施</li> <li>・港-都市部間のアクセスの向上</li> </ul>
	地区	考え方	施策
港区計画	東海岸町沖（フェニックス）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車、鋼材等「製品」を中心に扱う地区として位置付け</li> <li>・東側岸壁の防災機能の追加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東側岸壁の耐震強化</li> <li>・港へのアクセス改善</li> <li>・モーダルシフトへの対応（RORO受入施設として検討）</li> </ul>
	東海岸町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バラ貨物の取扱区として位置付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東海岸町3、4号岸壁の補修</li> </ul>
港への交通アクセスの改善		<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通アクセスの改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流円滑化に対応した道路整備</li> <li>・未広地区における公共岸壁の整備</li> </ul>
地域経済の振興・阪神港の補完		<ul style="list-style-type: none"> <li>・尼崎市臨海部の物流倉庫を利活用した阪神港の補完を目指す</li> <li>・阪神港への集貨、創貨への貢献</li> <li>・尼崎港区での空バンプールの設置による、阪神港の輸出入バランスの調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸港－大阪港間のはしけ輸送の基地</li> <li>・フェニックスへの倉庫・冷蔵倉庫群の誘致</li> <li>・空バンプールを設置し、ICTによる管理体制の確立</li> <li>・バンニング、デバン作業の検討</li> </ul>